

1. 適用箇所: 連結部外面(F-11塗装系)【防せい処理ボルト未使用時】

仕様番号

2. 施工区分: 工場塗装、現場塗装

3. 使用材料一覧表

規格	塗料名	商品名
鋼道路橋塗装用塗料標準(2014)	無機ジンクリッチプライマー	ゼッターOL
鋼道路橋塗装用塗料標準(2014)	無機ジンクリッチペイント	ゼッターOL-HB
鋼道路橋塗装用塗料標準(2014)	有機ジンクリッチペイント	ゼッターEP-2HB
鋼道路橋塗装用塗料標準(2014)	変性エポキシ樹脂塗料下塗 A、B	エポオール#40下塗
鋼道路橋塗装用塗料標準(2014)	超厚膜形エポキシ樹脂塗料	エポニックスH-R
鋼道路橋塗装用塗料標準(2014)	ふっ素樹脂塗料用中塗	Vフロン#100H中塗
鋼道路橋塗装用塗料標準(2014)	ふっ素樹脂塗料上塗	Vフロン#100H上塗IG

4. 塗装仕様

工程	商品名	色相	塗装方法	標準 使用量 (g/m ²)	目標 膜厚 (μm)	塗装間隔 (20°C)
製鋼工場						
1次 素地調整	ブラスト処理:ISO Sa2 1/2					4時間 以内
プライマー	ゼッターOL	グレー	エアレス	(160)	(15)	6ヶ月 以内
橋梁製作工場						
2次 素地調整	ブラスト処理:ISO Sa2 1/2					4時間 以内
防食下地	ゼッターOL-HB	グレー	エアレス	600	75	~ 12ヶ月
現場						
素地調整	動力工具処理:ISO St3					4時間 以内
下塗り *ボルト頭部のみ	ゼッターEP-2HB	グレー	はけ	240	30	1日~ 10日
下塗り *ボルト頭部のみ	ゼッターEP-2HB	グレー	はけ	240	30	1日~ 10日
ミストコート	エポオール#40下塗	赤さび色	はけ ローラー	130	-	1日~ 10日
下塗り	エポニックスH-R	N-7.0	はけ ローラー	500	150	1日~ 10日
下塗り	エポニックスH-R	N-8.5	はけ ローラー	500	150	1日~ 10日
中塗り	Vフロン#100H中塗	指定色 淡目	はけ ローラー	140	30	1日~ 10日
上塗り	Vフロン#100H上塗IG	指定色	はけ ローラー	120	25	

5. 混合稀釈要領

商品名	稀釈シンナー	混合比率 (重量比)		塗装方法	稀釈率 (重量比%)
ゼッターOL	ゼッターOLシンナー夏型 又は 同、冬型	亜鉛末 展着剤	70部 30部	スプレー	10%以下
ゼッターOL-HB	ゼッターOL橋梁用シンナー	亜鉛末 展着剤	75部 25部	スプレー	10%以下
ゼッターEP-2HB (ボルト頭部にのみ)	ゼッターEP-2シンナー	主 剤 硬化剤	95部 5部	は け	5%以下
エポオール#40下塗 (ミストコート)	エポオールシンナーA	主 剤 硬化剤	85部 15部	は け ローラー	50%以下
エポニックスH-R	エポニックス橋梁用シンナー 又は 同、夏型	主 剤 硬化剤	90部 10部	は け ローラー	5%以下
Vフロン#100H中塗	Vフロン#100H中塗用シンナー 又は 同、夏型	主 剤 硬化剤	85部 15部	は け ローラー	10%以下
Vフロン#100H上塗IG	Vフロン#100H上塗用シンナー夏型 又は同、真夏型、冬型	主 剤 硬化剤	90部 10部	は け ローラー	10%以下

6. 注意事項

- 1) 本仕様は、日本道路協会の「鋼道路橋防食便覧、塗装編」に準拠した。
- 2) 塗装作業は、日本道路協会の「鋼道路橋防食便覧、塗装編」に準じる。
- 3) 塗装間隔の下限は、気温20℃の場合を示す。
気温が低い場合は、塗膜の乾燥状態を調べ硬化乾燥をしていることを確認し塗重ねを行う。
- 4) 製鋼工場におけるプライマーは膜厚にて管理し、総合膜厚には加えない。
- 5) ミストコートはボルト頭部にも適用する。
- 6) 防せい処理ボルトを使用する場合には有機ジンクリッチペイント塗装を省略する。